

# スポーツの楽しさと活動の輪を

## 広げるスポーツ少年団

日本スポーツ少年団は、公益財団法人「日本スポーツ協会」が運営する日本最大の青少年スポーツ団体です。1962年（昭和37年）に創設され、令和元年度の全国登録状況は、登録団數約3万1000団体、登録団員數約65万人、登録指導者數は約19万人に上り活発な活動が展開されています。

日本スポーツ協会では、一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供し、スポーツを通して青少年の心と体を育てるとともに、スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献することを理念に掲げ活動しています。

「スポーツ少年団」では、子どもたちが、スポーツを楽しむだけでなく、学習生活、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動などを通じて協同性を養い社会ルールや思いやり的心なども学ぶことを目的として活動しています。

### 北斗市スポーツ少年団の

#### 活動状況について

北斗市のスポーツ少年団登録数は、令

和2年度で28団体に上ります。

野球、サッカー、バドミントンをはじめ数々の競技を行う少年団がありますが、武道関係の少年団では、柔道、剣道、空手、少林寺拳法などが、総合体育館の小体育室やスポーツセンターの格技室で活動をしています。その中でも柔道少年団は、創設も古く、幼児・小学生から中学生まで幅広く参加して活動しています。

北斗市には、長い歴史と伝統に支えられた2つの柔道スポーツ少年団があります。柔道は、日本の代表的な武道として人気のある競技です。柔道の精神である相手を敬い、礼儀作法やあいさつを大切に、健康な心身と体力の増進を目指し日々練習に励んでいます。

#### ◎大野柔道スポーツ少年団

大野柔道スポーツ少年団は、昭和47年に旧大野町柔道同好会として発足し、昭和49年に同好会の中に少年部を設け活動を開始しました。

その年に全道中学校柔道大会で優勝し全国大会に出場するという快挙を成し遂げました。その後も、各種大会の団体戦・個人戦でそれぞれ優勝し、女子の個人戦

においても全国大会に出場するなど、優秀な成績を収め現在に至っています。平成16年には、文部科学省より全国生涯スポーツ優良団体として表彰されました。団員は、最盛期には40名を超えましたが、現在は幼児から中学生まで14名の団員で週3回の練習を行っています。



大野柔道スポーツ少年団

#### ◎上磯柔道教室スポーツ少年団

上磯柔道教室スポーツ少年団は、平成4年に創設され、今年度で29年目を迎えました。小学生から中学生まで22名の団員で活動しています。清水整骨院の清水豊氏を中心とした6名の指導者の下、練習に力を入れています。



上磯柔道教室スポーツ少年団

現在まで中学生が3度の全道優勝、小学生女子の部でも全道優勝する子も出ています。

### まとめに

スポーツ熱は、ますます盛んですが、近年、少子高齢化が進む中で、人気の高い野球やサッカーなどでも、少年団に入る子どもたちが減少しており、団員の確保や指導者不足などで苦労している団体も増えてきています。

このような中、対象年齢を低学年まで広げたり、少年団の合併やクラブチームとして近隣の市町まで募集を広げ団員を確保し、活動している少年団もあります。

#### スポー



柔道の練習風景

の楽しさと活動の輪を広げるスポーツ少年団の活動をどう維持するか、どう対応していくのかは、今後ますます大きな課題になるのではないのでしょうか。現在、コロナ禍の中で制約された活動となつていますが、一日も早く従来のような子どもたちが楽しく参加できる少年団の活動を願うばかりです。

（北斗市スポーツ推進委員会

委員長 安達 孝義）